

令和元年度第2回 優良品種・技術評価委員会 議事概要

日時：令和2年1月 28 日(火) 14:00～16:00

場所：東京八重洲ホール

出席した委員：石栗 太、大森 龍一、上 練三*、齋藤 正、高橋 誠、蓬田 英俊（*：委員長）

事務局：倉本哲嗣、山野邊太郎

（いずれも五十音順）

議事概要

・申請のあった品種の評価について

初期成長に優れた第二世代カラマツ品種として4系統（林木育種センター）、無花粉スギ品種として1系統（東京都、神奈川県、富山県、静岡県、林木育種センターによる共同申請）、無花粉遺伝子を有するスギ品種として2系統（林木育種センター、神奈川県、富山県の共同申請）、マツノザイセンチュウ抵抗性アカマツ品種として15系統（東北育種場および関西育種場）、および、マツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ品種として5系統（関西育種場）の合計27系統について、申請内容の是非が検討された。いずれも基準を満たしており、申請のあったすべての系統が優良品種として評価された。

なお、委員からは初期成長に優れた第二世代カラマツ品種について、成長以外にねじれについても遺伝的改良の可能性について検討がなされることが望ましいとの意見があり、今後検討することとした。

以上